

氏名	森 正樹（マサキ）	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	特別支援教育、臨床発達心理学、学校コンサルテーション・保育コンサルテーション				
学位	修士（教育学）				
学歴	東京学芸大学教育学部特殊教育学科卒業(1991年3月) 東京学芸大学大学院修士課程教育学研究科修了(2003年3月)				
経歴	2007年 埼玉県立大学保健医療福祉学部非常勤講師、2010年 埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、 2023年 埼玉県立大学保健医療福祉学部教授（現職）、公認心理師				
所属学会（役職）	日本特殊教育学会・日本発達心理学会・日本精神保健看護学会・日本発達障害学会（評議委員）				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	心と体の健康（27巻 第4号）	共著	あり	健学社（74頁-76頁）	学校保健教育研究会	2023.4.1
(2) 論文						
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	発達障害論	○	15	発達障害の特性と支援方法について、学生が主体的に学習できるように、映像資料や事例をもとにしたグループワークを実施。学生に共同的な学習と発展的思考を促すための課題や発問を用意した。		
2	教育心理学	○	15	教職志望の学生が発達理論や、学習・認知・社会性等の理論を実際の児童生徒の姿に関連付けて理解できるように各種資料、発問・設問を準備。児童生徒の実態及び教育現場の実践に即した解説を行った。		
3	人間発達学①	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発問を工夫して授業内容に採り入れた。		
4	人間発達学②	○	15	生涯発達を身近な体験や事象に関連づける視点の提供を心がけた。写真資料やエピソード等、具体的な素材を活用するとともに、学生が主体的に考えるための発問を工夫して授業内容に採り入れた。		
5	教育相談	○	15	いじめ・不登校・発達障害等について、現今の教育現場の実態と課題を学ぶ実践的な学習機会を提供。児童生徒への関わりをグループワークやロールプレイなどで学ぶ、実践的な授業内容を工夫した。		
6	特別な保育・教育ニーズの理解と支援		7	障害のある子どもと家族の理解と支援に関して、事例や映像等を活用し実践的学習の機会を提供。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料（モデル事例）を準備し、グループワークを行った。		
7	子ども家庭支援の心理学	○	15	家族理解と支援の視点に関して、仮想事例や映像教材等を活用して実践的授業を進めた。自身の研究と支援活動に依拠した授業用資料を準備（架空事例）。これをもとにグループワークを展開した。		

8	特別支援教育	○	8	発達障害など特別な教育的支援を要する児童生徒の実態と指導方法を具体的に理解できるように、各種教材を作成・活用した。自身の実践経験もふまえ、より具体的・実践的な授業内容を目指した。
9	コンサルテーション論 (大学院)		2	発達障害児の支援に関する学校現場のコンサルテーションを授業で再現した。コンサルタントやコンサルティーマの役割を疑似体験しながら、コンサルテーションの技法を実践的に学ぶ機会を提供した。
10	リハビリテーション教育学Ⅰ (大学院)		2	主に青年期に着目し、生涯発達における位置づけと発達課題及び心理社会的特性について解説した。青年期以降の学習者を想定し、大学や専門学校等の養成課程での授業の留意点を自身の実践を踏まえ解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	カウンセリング技法③		15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ・グループワーク等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生・教員の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
2	カウンセリング技法⑥		15	紙上訓練・模擬面接・ロールプレイ・グループワーク等で、対人援助に必要なコミュニケーション技術の体験的学習の機会を提供。学生・教員の相互性の高い授業を目指した。学生の自己理解の観点も提供した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習	○	9.25-9.29	全学的な実習科目(学内)にて、講演や映像資料の視聴及びグループワークを通じて、主体的・相互的な学習の機会を提供した。学習成果の発表会で、学生間の意見交換や議論のファシリテーションを行った。
2	養護実習		5-6月中	養護教諭志望の学生の巡視指導を埼玉県内、及び東北地方の公立学校で実施。当該学生に指導案、教材研究、授業での発問や児童生徒とのコミュニケーションの配慮等に関する実践的助言、相談等を行なった。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2024.3	主指導 1名	副指導 0名
2	修士論文	2023.4～2024.3	主指導 0名	副指導 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	鴻巣市保育士研修会	鴻巣市	「障害のある子どもの家族と支援者の信頼関係～創作失敗事例に学ぶコミュニケーションのポイント～」	2024/6/17
2	インクルーシブ保育実践に関する研修会	社会福祉法人 さかえの会	「インクルーシブ保育実践に関する研修会」	2024/7/21
3	さいたま市教育委員会免許法認定講習 (特別支援教育)	さいたま市 教育委員会	「発達障害教育総論」	2024/8/3
4	川越市教育委員会免許法認定講習 (特別支援教育)	川越市 教育委員会	「発達障害教育総論」	2024/8/8
5	特別支援教育コーディネーター研修会 特別支援学校基礎コース	埼玉県立 総合教育センター	「通常の学級における支援の実践」	2024/8/10
6	児童虐待対応キーパーソン養成研修	埼玉県福祉部 こども安全課	「障害のある子どもの家族との信頼関係～架空の失敗事例に学ぶ対人援助のポイント～」	2024/8/23

7	中学校から高等学校へ支援をつなぐ特別支援教育研修【地域連携研修】	埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課・高校教育課・市町村支援部義務教育指導課	(東部地区)「中学校・高等学校等における発達障害のある生徒への支援について」	2024/10/20
8	中学校から高等学校へ支援をつなぐ特別支援教育研修【地域連携研修】	埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課・高校教育課・市町村支援部義務教育指導課	(南部地区)「中学校・高等学校等における発達障害のある生徒への支援について」	2024/11/8
9	墨田区育児講演会	墨田区保健所 本所保健センター	「子どもの豊かな心を育む遊び体験のヒント」	2024/12/2
10	志木市教育と福祉の連携会議 研修会	社会福祉法人志木市 社会福祉協議会	「保育実践を支援する外部専門機関の可能性」	2024/2/2
11	川口市子ども発達相談センター運営会議 研修会	川口市子育て相談課	「保育・教育実践を支えるコンサルテーションとは？」	2024/3/8
12	世田谷区教育総合センター内部研修会	世田谷区教育委員会 教育総合センター	「特別な教育的支援を要する児童生徒の理解と教育実践」	2024/3/21
13	荒川区タンポポセンター家族支援講座	荒川区福祉部 障害者福祉課	「人と関わる力を育む学校・家庭での関わり方のヒント ～発達が気になる子どもの豊かな育ちのために」	2024/3/22
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	埼玉県立春日部特別支援学校		学校評議員	現在に至る
2	埼玉県立越谷西特別支援学校		学校評議員	現在に至る
3	越谷市教育委員会		発達支援訪問指導事業指導者	現在に至る
4	三芳町教育委員会		特別支援教育アドバイザー	現在に至る
5	志木市健康福祉部子ども家庭課		障がい児保育巡回指導指導者	現在に至る
6	狭山市教育センター		専門家巡回支援事業指導者	現在に至る
7	鴻巣市立教育支援センター		通級指導教室スーパーバイザー	現在に至る
8	社会福祉法人昴 共生社会研究所		所友	現在に至る
9	日本発達障害学会		日本発達障害学会評議委員	現在に至る
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1.	全学的委員会及びセンター業務	障害学生アドバイザー（発達障害部門）		2023.4～2024.3
2.	全学的委員会及びセンター業務	ダイバーシティ委員会		2023.4～2024.3
3.	大学広報活動	埼玉県立大学オープンキャンパス企画・開催（教職課程相談会）		2023.4～2024.3
4.	学生支援（卒業生を含む）	教職ホームカミングデー企画・開催		2023.4～2024.3
5.	学生支援（学部生）	進路・キャリア相談		2023.4～2024.3
6.	学科等における委員会等	研究誌『子ども・教職研究』編集委員会・編集委員長		2023.4～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			